

令和元年度実施施策に係る政策評価書

別紙2
(環境省R1-8)

施策名	目標3-2 大気生活環境の保全				
施策の概要	騒音・振動・悪臭の防止対策やヒートアイランド対策による大気生活環境の保全				
達成すべき目標	騒音・振動・悪臭の発生防止や、ヒートアイランド問題の改善により、良好な生活環境を保全する。				
施策の予算額・執行額等	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
	予算の状況(百万円)				
	当初予算(a)	150	154	182	186
	補正予算(b)	0	0	0	0
	繰越し等(c)	0	0	0	
合計(a+b+c)	150	154	182		
執行額(百万円)	153	149	178		
施策に係る内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	○第五次環境基本計画(平成30年4月17日閣議決定) ○気候変動適応計画(平成30年11月27日閣議決定)				

測定指標	騒音に係る環境基準達成率(%)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	年度	
		-	85.7	85.7	89.7	89.4	-	100	×
		年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-	
	騒音に係る環境基準達成状況(道路に面する地域)(%)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	-	
		-	93.6	93.9	93.9	94.3	-	100	△
		年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-	
	航空機騒音に係る環境基準達成状況(測定地点ベース)(%)	基準値	実績値					目標値	達成
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	年度	
		-	79.8	79.5	80.5	81.4	-	100	×
		年度ごとの目標値	-	-	-	-	-	-	
	新幹線鉄道騒音に係る環境基準達成状況(測定地点ベース)(%)	基準	実績値					目標	達成
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	年度	
		-	53.5	50.1	56.2	56.7	-	100	×
		年度ごとの目標	-	-	-	-	-	-	
	振動に係る全国の苦情件数(件)	基準	実績値					目標	達成
		年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	年度	
		-	3,011	3,252	3,229	3,399	-	-	-
		年度ごとの目標	-	-	-	-	-	-	
悪臭に係る全国の苦情件数(件)	基準	実績値					目標	達成	
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	年度		
	-	12,959	12,624	12,025	12,573	-	-	-	
	年度ごとの目標	-	-	-	-	-	-		
熱中症予防サイトの閲覧数(アクセス件数:万件)	基準	実績値					目標	達成	
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	年度		
	-	1,300	1,150	1,200	3,000	2,900	-	-	
	年度ごとの目標	-	-	-	-	-	-		
暑熱環境測定結果提供機関数(施設)	基準	実績値					目標	達成	
	年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	年度		
	-	-	-	24	24	27	-	-	
	年度ごとの目標	-	-	-	-	-	-		

評価結果	(各行政機関共通区分) 進展が大きくない		
	(判断根拠)	<p>○騒音に係る環境基準の達成状況は、各年度での測定件数の違い等を考慮する必要があるものの、近年は緩やかな改善傾向にあり、平成30年度の環境基準の達成状況は89.4%となっている。</p> <p>○自動車騒音に関する環境基準について、道路に面する地域における平成30年度の環境基準の達成状況は、94.3%となっている。</p> <p>○航空機騒音については、各年度での測定件数の違い等を考慮する必要があるものの、近年緩やかな改善傾向にあり、平成30年度の環境基準達成状況は81.4%となっている。</p> <p>○新幹線鉄道騒音については、各年度での測定件数の違い等を考慮する必要があるものの、近年は横ばい傾向にあり、平成30年度の環境基準達成状況は56.7%となっている。</p> <p>○振動に関する苦情件数は、近年横ばい傾向にあり、平成30年度は前年よりやや増加した。</p> <p>○悪臭に関する苦情件数は、14年連続で減少傾向であったが、平成30年度は増加した。</p> <p>○ヒートアイランド対策については、熱中症予防情報サイトのアクセス数は酷暑であった前年度とほぼ同程度となっている。</p> <p>○検討の結果、令和2年度より暑さ指数(WBGT)の認知度を測定指標とすることが妥当であるとの結論に達した。</p> <p>○暑熱環境測定結果提供機関数については、前年度より3施設増加した。</p>	
	施策の分析		
次期目標等への反映の方向性			
学識経験を有する者の知見の活用	「騒音・低周波音問題への対応及び実態調査検討会」、「鉄道騒音の評価に係る検討会」、「悪臭公害防止強化対策に関する検討会」、「新幹線鉄道騒音対策に関する検討委員会」等を開催し、学識経験を有する者のご意見を伺いながら検討を行った。		
政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	各年度 騒音規制法施行状況調査(環境省) 各年度 振動規制法施行状況調査(環境省) 各年度 悪臭防止法施行状況調査(環境省) 各年度 自動車交通騒音実態調査報告(環境省)		
担当部局名	大気生活環境室 環境管理技術室 自動車環境対策課	作成責任者名 (※記入は任意) 東 利博(大気生活環境室長) 平澤 崇裕(環境管理技術室長) 小森 繁(自動車環境対策課長)	政策評価実施時期 令和2年9月